

2014 衆院選

日本共産党 21議席

606万票 11.37% 大躍進!



当選を喜ぶ塩川さん(前列左から4番目)と梅村さん(右となり)



梅村さえ子(50) 新



塩川鉄也(52) 当選6回

議案提案権で公約実現へ

北関東で2議席確保

12月14日の総選挙で、日本共産党は、比例代表選挙で606万票(11.37%)を獲得し、20議席を獲得しました。さらに沖縄1区で勝利し、改選前(8議席)の2.6倍を上回る21議席に大躍進しました。

また、参議院に続いて、衆議院でも議案提案権をもつことになりました。

小選挙区選挙では、704万票(13.30%)を獲得。うち、北関東ブロックは68万票で、塩川鉄也氏に続いて梅村さえ子氏の2議席を獲得しました。

加須市の選挙結果では、比例及び12区とも、前回衆院選の得票を倍加しました。なお、鈴木ちか子氏は、議席には届きませんでした。善戦・健闘しました。

日本共産党は、国民のみならず、まのご期待をしっかりと受け止め、新しい国会で公約実現に全力を尽くします。

安倍政権の暴走にストップをかけるため、こいっしょに力を合わせましょう。

2015年はいっせいで地方選挙の年。今度は市議選!、どうぞよろしくお願ひします。

鈴木ちか子さん善戦

比例・選挙区ともに倍加

【小選挙区：埼玉12区】

候補者名	政党名	得票数
野中あつし	自由民主党	27,244
本多平直	民主党	10,458
鈴木ちか子	日本共産党	5,009
森田としかず	次世代の党	3,479

【比例代表：北関東】

政党名	得票数
自民党	16,609
公明党	8,674
民主党	7,592
日本共産党	5,083
維新の党	5,000
次世代の党	674
生活の党	929
社民党	798
幸福実現党	196

◆有権者数 943,933人
◆投票者数 477,199人
◆投票率 50.55%

加須市の選挙結果



(2012衆院選…小選挙区2810票・比例2684票)

生活相談
お気軽に

ホームページ [日本共産党加須市議団](#)

検索

ブログ [さえきよしえ活動日記](#)

検索

ご意見ご要望はさえき議員へ 加須市上種足1322-1 Tel. 0480-73-1607

メール saeki-peace@plum.ocn.ne.jp



日本共産党

国会議員団

32人
ベストチーム

国民の期待に応え
全力尽くす!

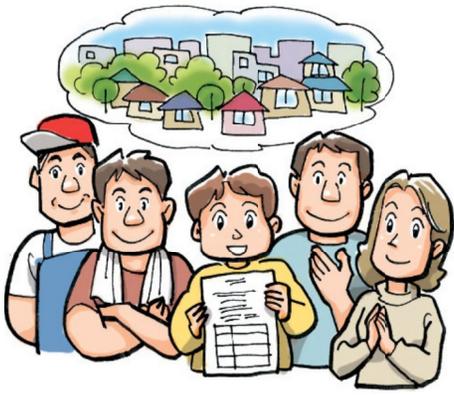
共産党 衆参 32人

総選挙での躍進で、日本共産党国会議員団は、衆院で21人、参院で11人の計32人となりました。躍進によって、国民に対する責任が一段と重くなりました。

国民のみなさんから、「共産党をのばしてよかった」、「もっとのばしたい」といっていただけたら、新しい国会で衆参32人が、力を合わせて力を尽くします。

対決・対案・共同

また日本共産党は、参院に続いて、衆院でも議案提案権を獲得しました。選挙戦で訴えた公約を実現するため、議案提案権をフルに



活用して、国民の願いをどしどし法案の形にして国会に提起し、現実政治を動かしていきます。

安倍政権がこれから進めようとしていることは消費税10%、「アベノミクス」、集団的自衛権、原発再稼働、沖縄新基地「これをとつても、国民多数の意思に背くものばかり。強行しようとするならば大きな矛盾が噴き出すでしょう。

日本共産党は、総選挙で獲得した新たな地歩を縦横に活用して、大奮闘するとともに、あらゆる分野で一致点にもとづく共同「一点共闘」をさらに発展させ、国会内外の力で安倍政権の暴走を与え、日本の政治を変えるために頑張ります。よろしくお願ひします。

市政と国政 結んで

総選挙で市民から「消費税増税で商売できない。家族6人で共産党に投票した」(店主)、「米価暴落でガツカリだ。自民農政に裏切られた。今度は共産党」(米農家)、「避難生活で世話になっている。選挙で応援」(原発被災者)など、激励の言葉が寄せられています。

日本共産党議員団は、市民の声を国会に届けるため、党国会議員団と連携して取り組みます。

「身を切る」というなら 政党助成金

安倍政権は信任されていない!

【2014年 11党・315億円】

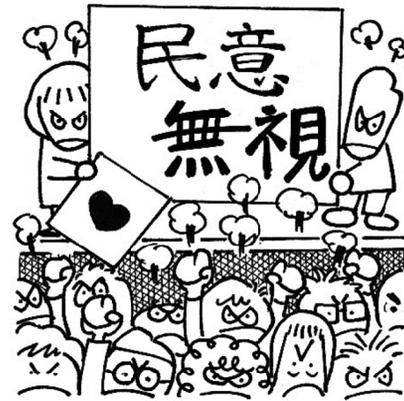
自民党	157.8億円
民主党	66.9億円
公明党	26 億円
維新の党	12.1億円
次世代の党	6 億円
社民党	4.2億円
新党改革	1 億円
※合併・解散で要件を喪失	
・維新の会	16.4億円
・みんなの党	15.1億円
・生活の党	7.8億円
・結いの党	1.7億円

【20年間で総額6311億円】

自民党	2874億円
民主党	1857億円
公明党	471億円
社民党	347億円
その他	761億円

国民1人あたり250円で、年320億円の税金を政党が山分けする政党助成金。支持政党に關係なく、国民が「強制献金」させられています。今年の総額は、11党315億円。1995年の制度開始から今年までの20年間で、離合集散を繰り返して、35党で6311億円に上ります。先年の総選挙で自民、公明、民主、維新などは、消費税増税を止めて、このお金は国民のために使うよう全力を上げます。

共産党以外 巨費を山分け



国民に押しつけるため、国会議員を削って「身を切る」と言いながら「身を肥やしている」のが実態です。本当に身を切るといふなら、真っ先に政党助成金を廃止するべきです。

日本共産党は、実施から一貫して受け取りを拒否しています。躍進した力で政党助成金を廃止して、このお金は国民のために使うよう全力を上げます。

自民80万・公明25万票減らす

総選挙の結果について、メディアは「自公圧勝」と報じました。しかし、自民党は公示前より議席を減らし、比例では昨年参院選よりも80万票減、公明党も25万票減りました。決して信任されたとは言えません。

これは、第一党が議席を総取りする小選挙区制度に原因があります。全有権者のなかでみただけでは、自民党は小選挙区で24%程度。ところが、3分の2近い議席を占めます。民意との乖離は抜き差しならない状態です。

安倍政権は、信任されたとは言えません。暴走すれば、国民とのあつれきは避けられません。